

都市計画マスタープラン策定に係る地区懇談会(西岬地区)

— 第1回 懇談会要旨 —

1. 懇談会開催日時等

日時：平成20年1月24日(木) 13:30～15:00

場所：西岬東地区公民館

市職：都市計画課3名

2. 懇談会次第

1) 開会

2) 都市計画課課長挨拶

3) 懇談テーマ、意見交換

①都市計画マスタープランとは

②館山市全体及び西岬地区の都市計画の現状

③まちづくりに関するアンケート結果の概要報告

④質疑、意見交換

4) その他

5) 閉会

3. 参加者

18名

4. 西岬地区から出された主な意見

○都市計画マスタープランへの要望

- ・市全体のまちづくりの方向性と、地区のまちづくりの方向性との調整を図りながら策定して欲しい

○地区の整備に関する要望

- ・ある程度の生活関連施設の充実や、まちの賑わいを担保して欲しい
- ・安全・安心して暮せるまちにしてほしい
- ・青柳大賀線の整備や公共交通の充実による、観光振興への展開

5. 懇談会要旨

【資料説明】

①都市計画マスタープランとは

- ・都市計画マスタープランの役割や法的位置づけ等について説明。

②館山市全体及び西岬地区の都市計画の現状

- ・市全域及び館野地区についての人口推移や土地利用現況等を説明。
- ・以下の事項等をテーマとして都市計画マスタープランを策定すると報告。
 - 都市計画道路の新設・廃止を含めた見直し
 - 用途地域の拡大や変更等の見直し
 - 景観形成
 - 都市公園の新設等を含めた見直し
 - 中心市街地の空洞化

③まちづくりに関するアンケート結果の概要報告

- ・アンケートの結果より、以下の事項がまちづくりの方向性に挙げられると報告。
 - 誰もが住みやすい、安全・安心なまち
 - 自然や文化を活かした観光都市
 - 公園の整備

【質疑、意見交換】

以下、参加者から出た意見を“○”、事務局からの回答を“⇒”とする。

○アンケートの結果を見ていると、観光都市というよりも、年寄りが暮らしやすいまちにしてみらいたい。例えば医療や自然環境、公共交通とか。

⇒アンケートの回収結果より、高齢者の方の意見が多かったので、そのような意見になったと思っている。

○コンパクトシティに関して、踏み込んで検討を行っていくのか。

⇒地域によって合うところと合わないところがあると考えている。例えば駅周辺に機能を集中させようと思っても、駅周辺に公共交通が発達しているのか、企業が進出してきてくれるのか等の問題が出てくることも考えられる。また、拡大も一概に悪いとも限らないとも考えている。どのような方向にしていくのかは、皆様の意見を聞きながら模索していきたいと思っている。

○西岬地区の公共交通は JR バスしかない。車社会だから仕様がなくて、民間企業で採算が取れないところは補助金をだして動いている所もあると聞いている。

ある程度行政主導で公共交通を充実させられないのか。そうすれば、観光にも結びついてくるように思う。

⇒以前、館山市の公共交通について検討を行ったことがあるが、採算性等の問題から断念せざるを得なかったと聞いている。

⇒青柳大賀線についてどう思うか伺いたい。

- この道路作ったって大したこと無いでしょ。青柳大賀線の整備に関しては難しい問題。
市の観光地の立地を考えてもそうだし、西岬には南パラしかない。道路を作っても効果が本当に出るのかということもある。
- ⇒道路作ったからといって、必ずその地域がよくなるとは言えない。客を呼べる施設を考えなければならない。しかし、西岬にはすばらしい海をもっている。観光客は水のきれいな海を持っている西岬の方向へ向かう流れがある。
- 青柳大賀線は、観光という面から見るとメリットがあると思う。西岬地区にインパクトを与えてもらうという意味では必要な気がする。確かに道路ができたからといって効果が出るのかという問題はあるが、それはまた別の問題。その時に受け皿となるものを整備していくことが必要になってくると思う。市全体の道路ネットワークを考えた場合、マイナス面もプラスもあると思う。全体で考えれば、西岬にとってはプラスになると思う。青柳大賀線は必要だと思う。
- ⇒現在、富浦 IC から高速道路を降りて、国道 127 号を通るようなルートになっている。この状況から、館山市街地や観光栈橋への誘導が難しいという意見がある。市民から船形館山港線の手前へ車を下ろして欲しいという意見が出ている。事業化され、海岸へ車が下りることが出来れば西岬方面への車の流れも変わってくると思う。
- 館山湾の観光栈橋について、海拔 0m の所で道路が水没してしまう等の心配をしている人はいないのか。
- 観光栈橋で定期観光船が着岸できるようになると聞いているが、本来であれば防波堤が必要になる。防波堤がなく栈橋のみでは着岸するのに厳しいと思う。
- ⇒地球温暖化が進み、海面上昇していることは報道もされている。但し、海面上昇の速度もある。低気圧でも海岸へ波が寄せている状況もある。意見があったことを担当課に伝えておく。
- ⇒また担当課からは、定期観光船だけでなく、館山湾に入る他の船舶に関しても考慮しながら工事を進めていくと聞いている。
- 人口は減少傾向にあるというが、セカンドハウスの的なもので定住者を増やしていけないか。また、そのためには道路整備は必要であると思っている。
- 公共下水道の整備について、将来的に公共下水道が整備される計画はないのか。
- ⇒計画はない。施設維持の観点から、ある程度の民家の集積がないと困難である。
- 下水道の利用率はどれくらいなのか。
- ⇒供用開始区域の中では、6 割から 7 割くらいはつながっている状況である。
- アンケート結果を館山全体でとらえた分析と、地区別にとらえた分析とを分けなくてはならないと思う。その中で調整を図っていきながらまちづくりの方向性を決めていくことになると思うが、最大公約数をとっていくのはなかなか難しいのかと思う。
- 観光都市として、将来地域振興を図っていくことを考えると、観光産業しかないように思う。自然や歴史的な資源を活かしていくべきである。

- 人口は減少しているが、世帯数は増加している。やはり、ある程度のライフラインは整備されている方が良い。
- 公共交通がまちの中心部に集積されるようになった場合、西岬の人たちはそこに出て行くことになる。そうなりとずれこの地区はなくなってしまう恐れがある。人がいなくなると農業も漁業もできなくなる。その辺を考慮して、将来の方向を考えて欲しい。
- ある程度の人がいって、ある程度の賑わいを担保して行って欲しい。